

# 練馬区の起業家



プロショップ・高村製作所代表  
チーム・ラバネロ監督  
高村精一さん

## 好きなことを突き詰め、全国からファンが集まる自転車屋に

**生まれも育ちも桜台。  
学生時代に自転車競技を始めました**



僕が中学2年生の時、日本にサイクリングブームが起きたんです。その時代、いろいろな会社にサイクリングクラブができました。僕は当時自転車通学をしていて、その姿を見た人がサイクリングクラブに誘ってくれたのがきっかけで、自転車競技に興味を持ちました。今では信じられませんが、僕は元々身体がすごく弱かったです。体力をつけるためにも自転車が良いだろうと考えた父の勧めで、自転車競技を始めました。高校生になってからレースにも出るようになり、関東大会で2連覇しました。そして日本大学に推薦で入り、自転車競技に没頭しました。当時から機械関係は得意だったので、先輩たちの自転車の整備の担当もしていましたね。その時、メーカーによって自転車の乗り心地が違うのはどうしてだろう？と疑問に思い、各社の自転車のフレームの寸法を測り始めました。今のフレーム作りの原点はその頃にあります。

**練馬への想いからオリジナルフレームは「ラバネロ」と命名。練馬から全国へ！**  
「家業（精密機械工場）を継いですぐの昭和49年に石油ショックの煽りを受け、仕事がほとんどなくなってしまったんです。生計を立てるためにも何かしなくてはと思い、自分に身近な自転車店をやろうと思いいました。ちょっとした修理の依頼などは

すぐにも受けられると思ったからです。自転車店を始めるとの頃、ロードレーズをやっている後輩たちが何人か応援に来てくれ、そのメンバーでクラブチームを作りました。チームの選手達には良い自転車を提供したいと思い、大手メーカーにフレームのオーダーメイドを依頼したところ、「型に収まるサイズではないので作れません」と言われたんです。それなら自分で作ろう！と思い、オリジナルフレームを作り始めました。

当初は商売は考えていませんでしたが、僕のフレームに乗った後輩が全日本選手権で優勝したんです。それが噂になり全国から注文が来るようになったので、本格的に自転車製作を開始しました。

自転車のブランド名は練馬大根から着想し、イタリア語で大根を意味する「ラバネロ」にしました。クラブ名も「チームラバネロ」です。これまでナショナルチームや競輪の世界へ選手を何人も送り出してきました。今では自転車界で知らない人はいない存在となり、大会に行くといろんな方に声を掛けられます。

### 自転車界のレジェンドと呼ばれるお店に

オリジナルフレーム「ラバネロ」はクチコミで広がり、今も日本全国からファンが集まります。昔はよく雑誌に載っていたのを見て来る方が多かったのですが、今はインターネットの影響が強いですね。テレビで



▲ショップをベースとしたクラブチーム「チームラバネロ」は、老若男女、サイクリスト、ツーリストから、競技選手まで幅広い層のメンバーが所属しています。

放送されたこともありました。製作する自転車は、フレームだけではなくハンドルやブレーキもフルオーダーで受注しています。お客さんと相談しながら好きな自転車を作っていきますが「高村さんにお任せします」という方が多いですね。自転車のフレームのかたちや材質は、レース用・サイクリング用・ツーリング用など、目的によって大きく変わります。そして乗る人の体格や体重などに合わせて細かく調整していきます。

### 独学で突き詰めた独自の技術が、誰にも真似できない強みに

自転車作りは、もちろん努力もしたけど好きなことだったから大変ではありませんでした。もともと機械の仕事もしていたので、大体の加工は苦もなくできましたし、溶接も小さい頃から家業を見ていて、分らないところは父親の仲間に教えてもらえました。楽しみながら研究を重ねて独自の技術を究めています。

今はクラブチームでジュニアの育成に力を入れています。この地域に適した練習方法を研究してきました。ここで育った子ども達が将来、日本の自転車競技を強くしてくれたらいいなと思っています。

これからも日本の自転車界の発展のために、縁の下力持ちとして自転車に関わっていきたくです。



**プロショップ・タカムラ製作所**  
練馬区桜台5-28-13  
Tel: 03-3991-3686  
営業: 11:00 ~ 20:00  
定休日: 日曜・レースの日  
(ご来店前にお問い合わせ下さい)  
<https://www.ravanello.com/>

